

REHSE「高校生による環境安全とリスクに関する自主研究活動支援事業」
平成30年度 研究活動報告書

森林の未利用資源を活用した生活環境の改善と健康の増進

愛媛県立上浮穴高等学校
クロモジ研究グループ

1 研究の目的

森林の適正な管理が土砂災害の防止や生物多様性につながることから、間伐によって生育する下層植物であるクロモジを未利用地域資源として活用し、地域活性化や新しい地域林業の在り方の研究を目的とする。

2 課題設定の理由

久万高原町の森林は拡大造林以降の50年生の木が伐期を迎え、至る所で全伐が行われている。緑の山林は部分的にはげ山となり、里山の景観とはほど遠いものとなっている。しかし、間伐して手入れの行き届いた山林には下層植物が多く自生し、森林の多面的機能によって環境保全や生態系維持につながっていることが分かった。

また、樹木の発散する香りにはストレスの改善や健康増進に効果があり、生活環境を豊にできると考えた。下層植物のクロモジの精油には芳香があり、和精油であることや、生産量が少ないことから1ミリリットル当たり2000円の高価なアロマオイルとして注目されている。

久万高原町では伐採後の林地残材として放置され、林業家には価値がないものであったが、クロモジは低迷する林業に新しい産業としての可能性が高いと考え研究に取り組んだ。

3 活動の内容

(1) 出前講義

①日時：平成30年3月7日(水)9時00分～11時00分

場所：上浮穴高校

講義題目：「アロマ de スマイルー香りからイメージするー」

講師：アロマセラピスト 森田ルミ子

②日時：平成30年6月5日(火)15時00分～17時00分

場所：上浮穴高校

講義題目：「アロマオイルのブレンド講習会」

講師：アロマセラピスト 森田ルミ子

(2) 研究成果の発表

①日時：平成30年7月26日(水)9時00分～16時00分

発表の場：農業クラブ愛媛県大会プロジェクト発表

発表題目：「森林の未利用資源を活用した生活環境の向上を目指して」

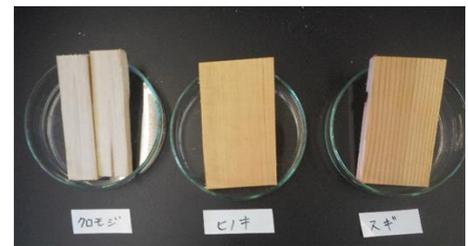
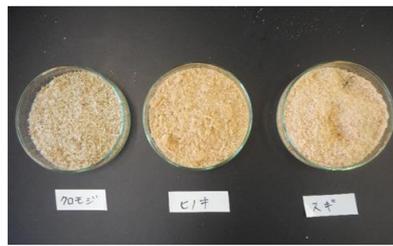
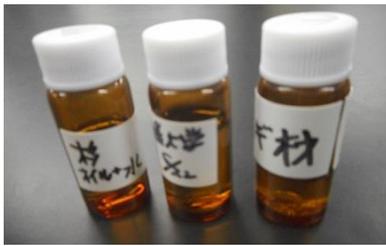
発表形態：■口頭発表□ポスター発表□その他

発表者名：岡崎光樹(3年) 富岡穂菜実(2年) 他6名

②日時：平成30年8月18日(土)～19日(日)9時30分～16時00分

発表の場：愛媛県男女共同参画センター

発表題目：「森林の未利用資源を活用した生活環境の改善と健康の増進」



(5) 普及活動

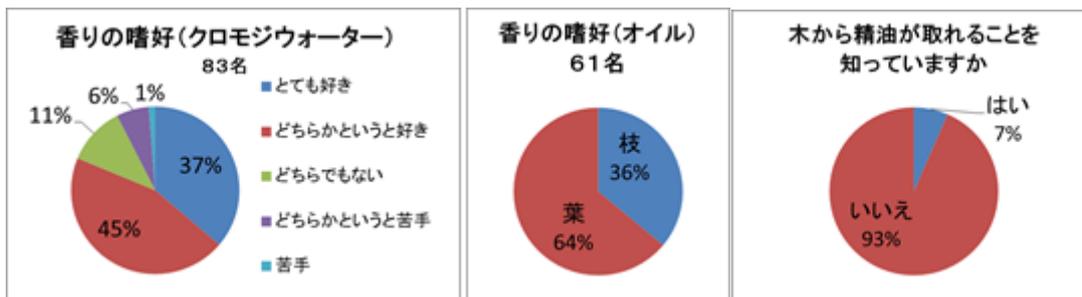
ア. アンケート調査

①道後温泉ホテルの客室にクロモジウォーターを設置していただき、アンケート調査を83名実施した。香りは個人で好みが変わるが、概ね評価は良かった。

年齢が高くなるほど香りを好む傾向があった。

②道後温泉のイベントでアンケート調査を61名実施した。年齢を問わず女性に関心が高かった。参加者にはクロモジの芳香剤を作っていただき無償で配布した。

イ. クロモジに関するアンケート結果



(6) アロマオイルの利用

オの木トークカフェ 2017 で知り合ったアロマテラピスト森田ルミ子氏からアロマオイルのブレンドについての講習会を3月、6月、12月の3回実施した。

香りの好みで人の精神状態を把握し、必要な香りを利用していくことで生活環境を豊にすることを学んだ。

今後はクロモジ精油をベースにブレンドした久万高原町の香りを作りたい。



(7) NPO法人の設立

クロモジ製品の販売が軌道に乗ると、継続的な製造・販売が課題となり、私たちの活動を支援する「NPO法人くまーの森びと」が平成30年5月2日に設立された。原料の調達、蒸留、商品の製造・販売をNPO法人が担当し、学校は商品開発や研究活動を分担して行うことになった。

4 「環境安全とリスク」に関する意見と感想

活動を始めて2年がたち、最初の頃に比べると、自分から課題意識を持って自主的に取り組み、人と接することも苦にならなくなりました。1年目は町内で「クロモジを知ってもらおう」という普及活動が多かったのですが、2年目からは都市部の方や県外の観光客を相手にすることも多くなり、消費者のニーズにあった商品開発や販売が大切であることも学びました。

1年目は商品化を中心に行ってきましたが、2年目は科学的根拠に基づいたクロモジの優位性を検証しました。特に樹木から発散されるフィトンチッドは精神的な効果があることはよく知られていますが、抗菌・殺菌作用や大気浄化の効果については、今後、関係機関が研究を深め、ビジネスとして成長していく産業だと感じています。

この活動を通して森林環境の保全が、私たちの生活における安全・安心と深く関わっていることを考えることができました。来年度も未利用の森林資源を私たちの生活に活かす研究をしていきたいと思えます。